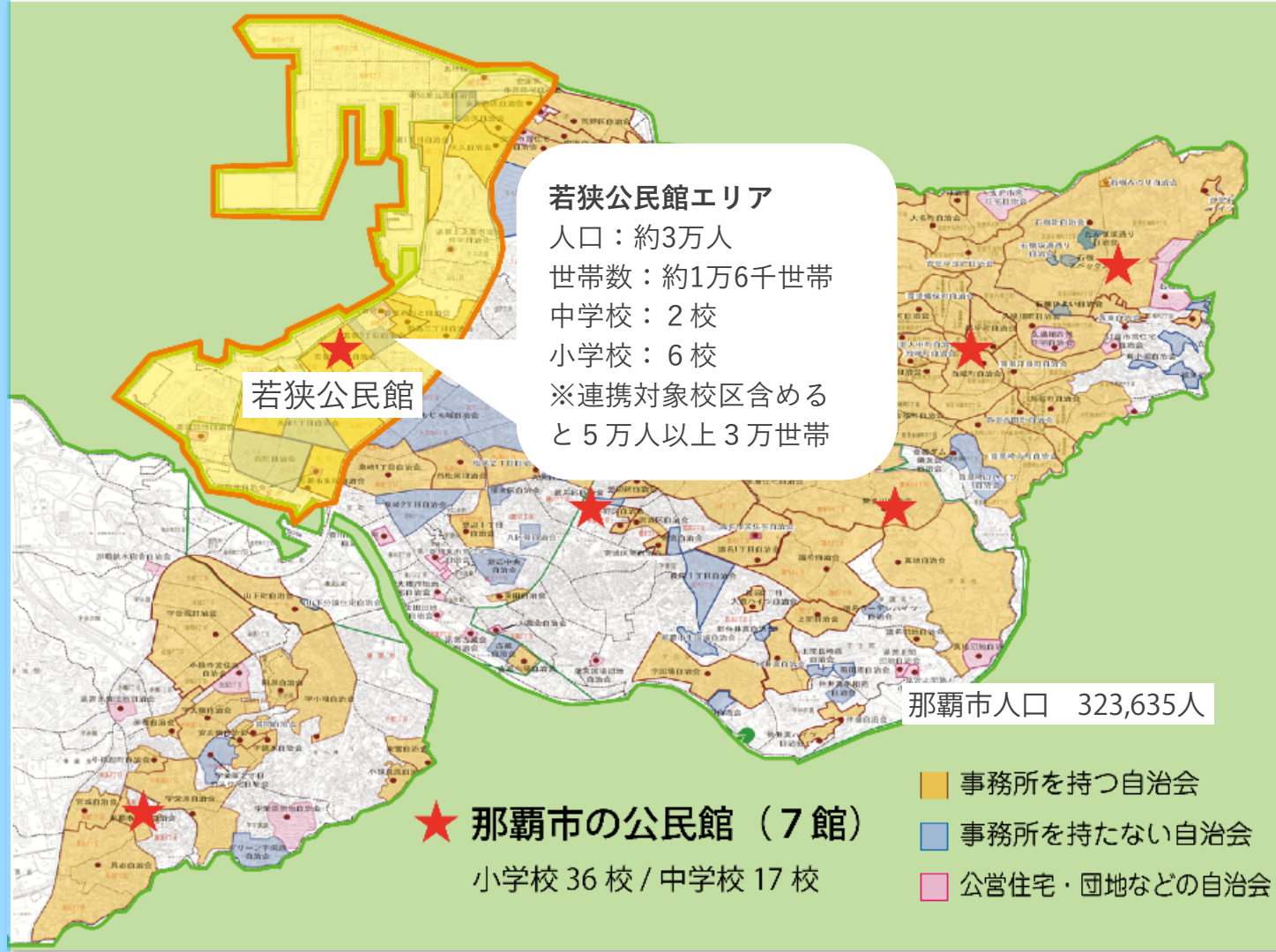


# 若狭公民館 エリア概況



# 若狭公民館 エリア概況



琉球王朝時代から海の玄関口として栄え、戦後は埋め立てによる開発が進められた。古い文化と新しいコミュニティ両方の側面がある。

# 若狭公民館 エリア概況

本庁地区の自治会加入率 **14.8%**

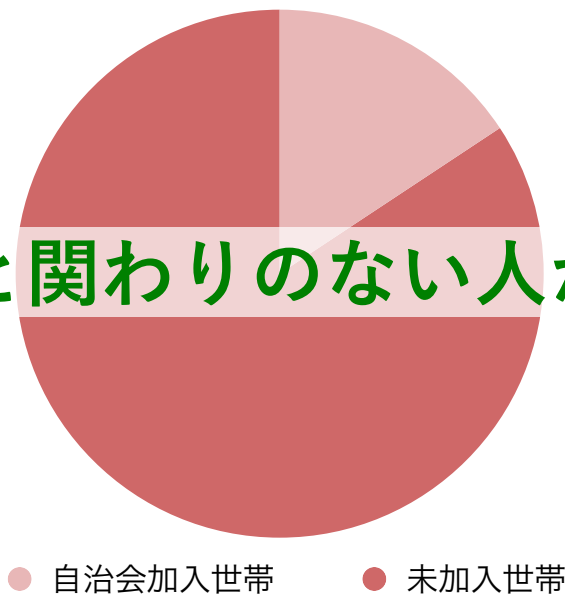
	住民登録 世帯数	自治会加入 世帯数	自治会数	1自治会あたり 平均加入世帯数	加入率 (%)	
地域	本庁地区	51,021	7,547	49	154	14.8%
	真和志地区	49,878	5,946	44	135	11.9%
	首里地区	24,035	7,167	41	174	29.8%
	小祿地区	26,234	4,568	21	217	17.4%
計	151,168	25,228	155	162	16.7%	

(平成30年4月現在)

# 若狭公民館 エリア概況

つまり、自治会未加入率 **85.2%**

地域活動と関わりのない人がほとんど



## 高い生活保護率

若狭公民館エリアの  
生活保護率

**6.20%**  
(那覇市 3.64%)

---

<参考> 生活保護率

全国 1.71% (2014年) / 沖縄 2.40% (2014年)

子どもの貧困率

全国 16.3% (2012年) / 沖縄 29.9% (2014年)

# 若狭公民館 エリア概況

## 県内有数の歓楽街

居酒屋・スナック・キャバクラ・ラブホテル・ソープランド  
など…



松山・辻・前島など、エリア内に県内有数の歓楽街を有している



# 若狭公民館 エリア概況

## 夜間働く女性が多い

那覇市内の夜間保育園のほとんどがこのエリアに集中



## 急増する外国人労働者・留学生

- エリア内に日本語学校および寮がある
- 外国人労働者数 5,971 人（沖縄県）
  - ・ 3年間で 75.6% の増加
  - ・ ネパール人が最も多く 1,610 人（全体の 27.0%）

---

※沖縄労働局「外国人雇用状況」の届出状況（2016年10月）

※雇用主から提出のあった届出件数を集計したもので、外国人労働者総数とは必ずしも一致しない

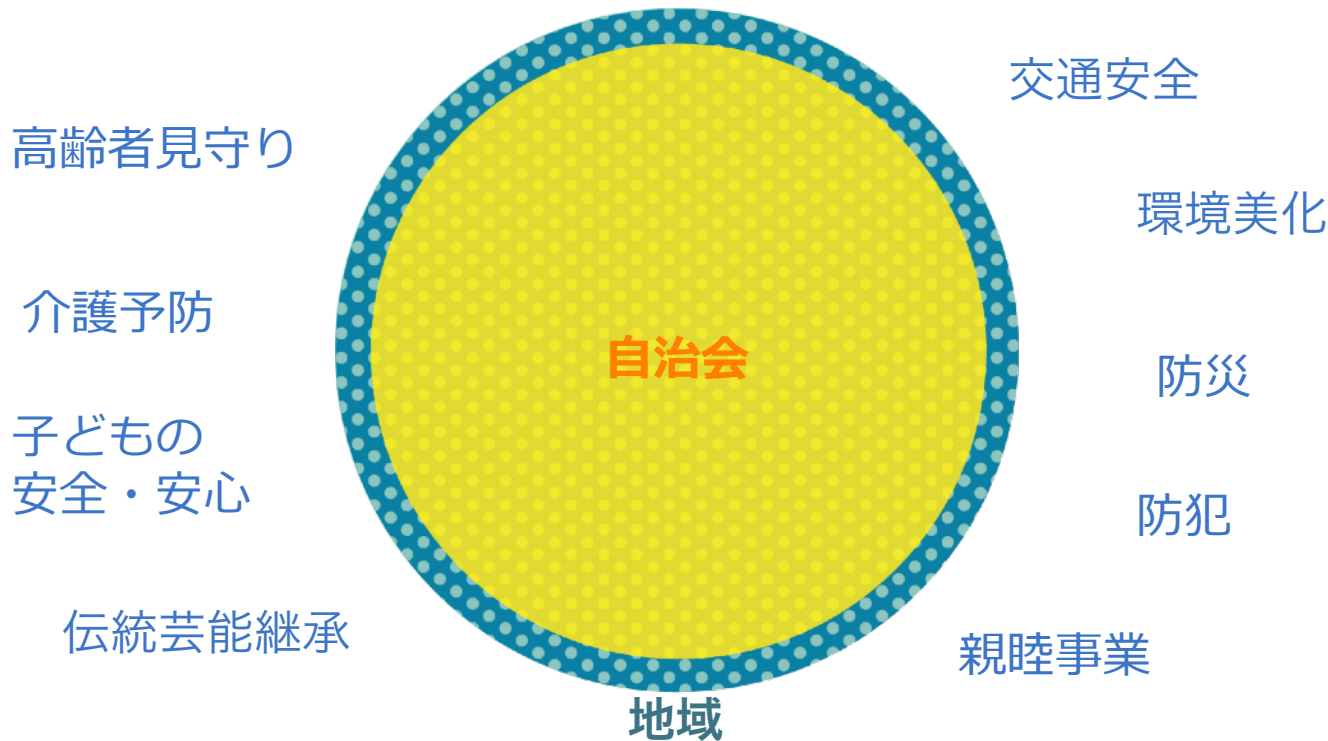


## コロナ禍で 見えてきた課題

- ・ **生活に大きな影響**があった人とそうでない人
- ・ 非常時は**社会の弱いところが顕在化**する
- ・ コミュニティ・**つながりの重要性**を再確認
- ・ つながりの中には、誰がいて**誰がいないのか**  
**想像力を持って**取り組む必要性

# 地域コミュニティ

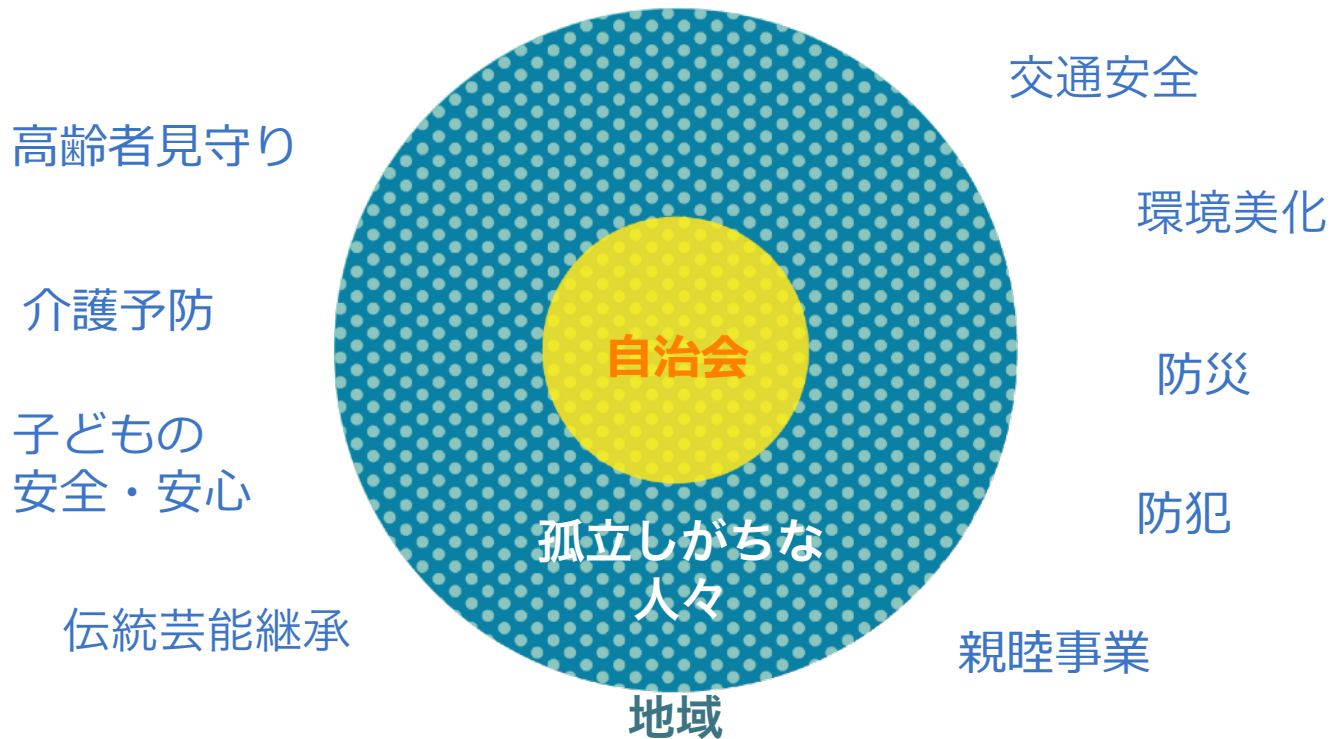
自治会加入率 80%



地縁組織に属する人が多いと地域課題が把握しやすく  
分担して取り組みやすいが、それでも偏りはある。

# 地域コミュニティ

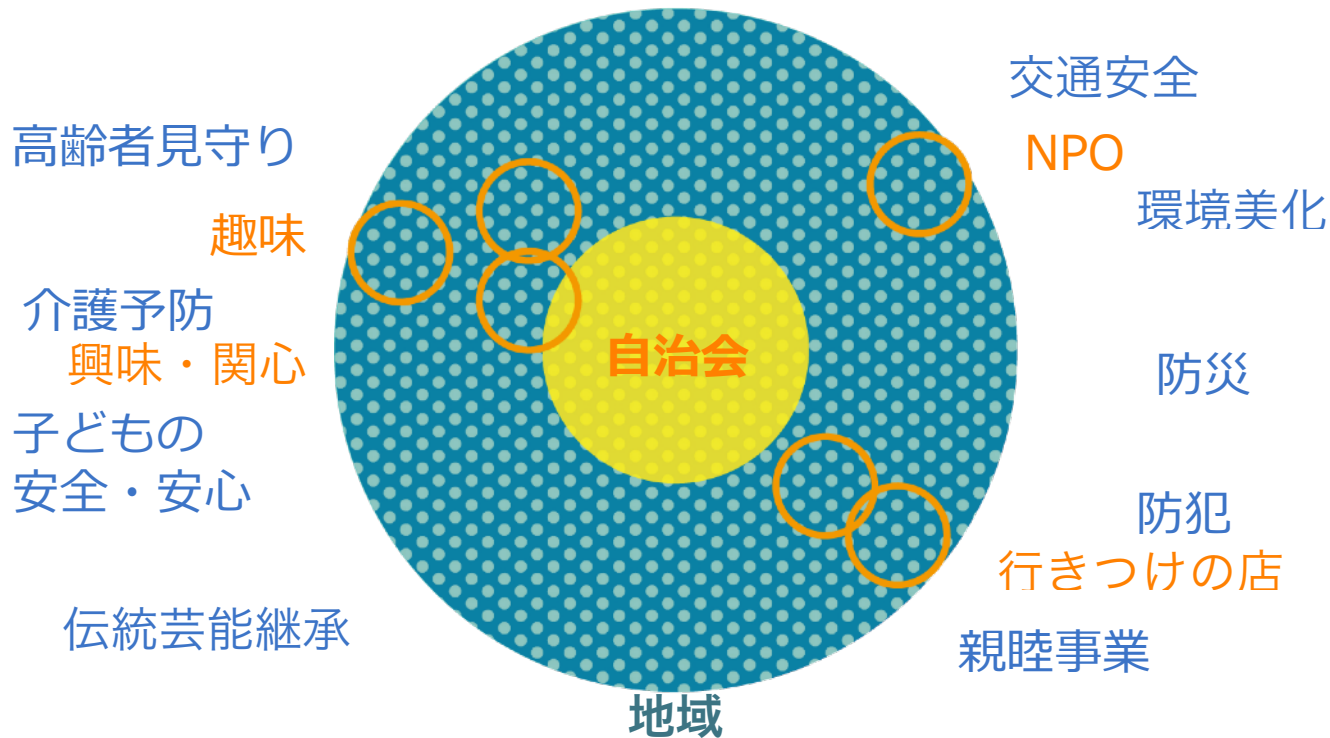
自治会加入率 15%



地縁が薄くなると、地縁組織（自治会）だけでは課題に対応しきれない。  
少ない人数で地域全体を担う自治会の負担は大きすぎる。

# 地域コミュニティ

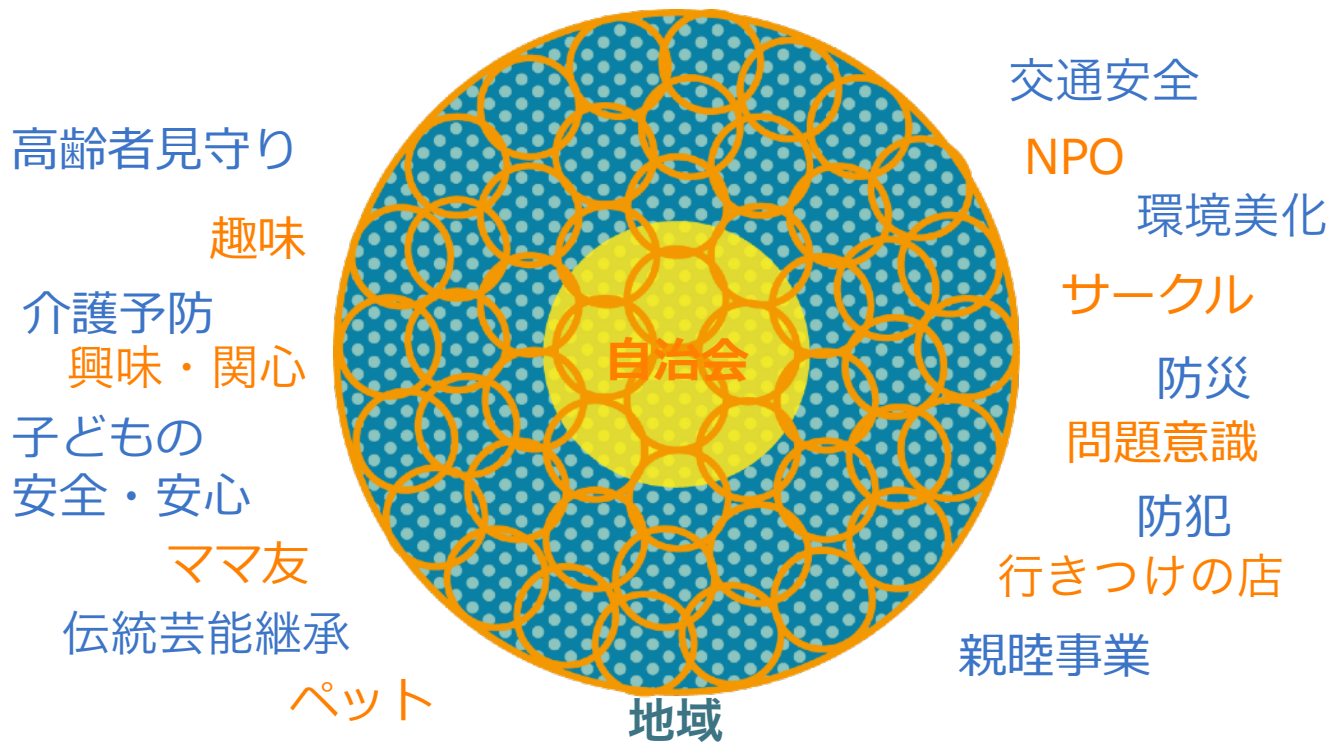
自治会加入率 15%



趣味や興味関心、好きなものなどを通じた小さなコミュニティが複数あり、多様な人それぞれに居場所がある。

# 地域コミュニティ

自治会加入率 15%



小さなコミュニティそれぞれがイキイキとし、  
緩やかに繋がることでセーフティーネットになる。



アーティストと開発する社会教育プログラム



# クリエイティブな部活動

## ダンボール部



## ポストポスト部



## ユーチュー部



那覇市若狭公民館

指定管理者：NPO法人地域サポートわかさ

館長 宮城 潤





# アート×社会教育 ダンボール部

## 廃ダンボールを分解して新しいものをつくる

地域にある廃ダンボールを集め、それを分解してレターセットやステッカー、ノートなどをつくる。

「海の生物の命を守る」ことをコンセプトに若狭海浜公園の海岸清掃を行う地球ハートクラブの子どもたちを中心に展開



顧問：儀間朝龍



# アート×社会教育 ダンボール部





# アート×社会教育 ダンボール部

## ホテル アンテルーム 那覇との連携展開

地域にあるホテルと連携し、そこで出てくる廃ダンボールを活用してグッズ開発を行う。できた商品は、ホテルのショップで販売、その売り上げが地域活動（地球ハートクラブの取り組み）支援につながる。



# アート×社会教育 ポストポスト部



顧問：平良亜弥



# アート×社会教育 ポストポスト部



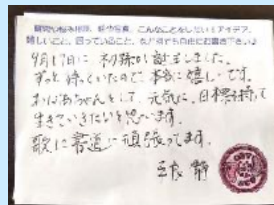
①若狭公民館へ



②ポストに投函

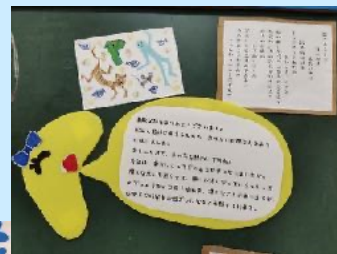


③手紙や  
写真など



④部員が話し合い返事の内容を考える  
(対面とオンライン)

オンライン不要で対面にならない  
コミュニケーション



⑤返事を  
掲示板に  
掲示





# アート×社会教育 ポストポスト部

